

# 受講後の感想

## 【一般企業・介護保険施設】

- ・高齢化による認知症への関心が高まっているので、社内研修の一環として受講を希望しました。清掃や警備に関わっている職員が今後、業務中に認知症や高齢者と接する機会が増えると思うので、認知症のことを学ぶ良い機会になりました。
- ・介護職員が個別ではなく一緒に受講することにより利用者対応への意識の統一を図ることができました。
- ・普段、自分が行っていた利用者への対応を見直すことができたので、今後の業務に活かしたいと思いました。
- ・難しそうなイメージがありましたが、分かりやすく受けて良かったと思うので、他の人にも受講を勧めたいと思いました。



## 【地区婦人会】

- ・分かりやすかったです。
- ・認知症について、知らなかったことを知ることができ、新しい発見がありました。
- ・今後、近所の繋がりを大切にして、自分が認知症になった時に安心して過ごせる地域づくりを目指したいと思いました。
- ・実際の場面を想定しての寸劇を見て、より身近なものとして考えながら楽しく学ぶことが出来ました。

## 認知症サポーターキャラバンとは？



厚生労働省では、平成17年から「認知症を知り地域をつくる」キャンペーンとして、「認知症サポーター100万人キャラバン」を展開しています。

国が示した認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）では、平成30年3月末までに、800万人養成することを目標としています。

平成27年3月末現在では、全国に約600万人の認知症サポーターがいます。

「ロバ隊長」は、「認知症サポーターキャラバン」のマスコットです。

認知症サポーターキャラバンの隊長として、「認知症になっても安心して暮らせるまちづくりへの道のりの先頭を歩いていきます。ロバのように急がず、しかし一歩一歩着実にキャラバンも進んでいきます。



# 認知症サポーターに



## ないませんか？

認知症は誰にでも起こりうる脳の病気です。

花巻市では、認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるまちづくりを目指して、認知症やその家族を見守り応援していく、認知症サポーターを養成しています。



### 認知症サポーターとは

認知症について学び、正しい知識を持って、認知症やその家族をあたたく見守る応援者です。

学んだ知識を友人や家族に伝えること、認知症の方の気持ちを理解しようと努めることもサポーターの活動です。

「認知症ってなに？どう接したらいいの？」  
まずは、認知症を知ることから始めましょう！



### 講座の内容

- ① 認知症とは？
  - ② 認知症の症状は？
  - ③ 認知症の方への接し方は？
  - ④ 認知症を予防するには？ など
- 受講時間 60分～90分の内容です。

料金は  
無料です

### サポーターになるには

認知症サポーター養成講座を受講した人が「認知症サポーター」となります。

受講後に「認知症の方を支援します」という意思を示す目印の「オレンジリング」が贈呈されます。

花巻市では平成27年3月末現在、約4500人の認知症サポーターがいます。

#### 【問い合わせ・申し込み先】

花巻中央地域包括支援センター内

認知症地域支援推進員 矢野友実子・伊藤洋子

電話：24-7246 FAX：21-3785